

(5) 日本食の普及

- フィンランドの日本食を提供するレストランは少なくとも200店舗(当館調べ)。中華系寿司店が急増。
- フィンランドにおける日本食材普及は、独英仏など西欧での流行を追いかける形で伸び。特に米は手の届きやすいスーパーの寿司コーナーで利用されることとなったため急激に拡大し、2019年以降、ヨーロッパで第2位の輸出先国となっている。
- また、近年の日本食ブームにより、市内のスーパーマーケットでも日本食材(米酢、醤油、そば(乾麺)、インスタントヌードル、ビール等)が購入できるようになっている。

商業用米の輸出実績(ヨーロッパ)

| | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 数量(t) | 数量(t) | 数量(t) | 数量(t) | 数量(t) |
| イギリス | 326 | 695 | 422 | 450 | 451 |
| フィンランド | 1 | 2 | 47 | 183 | 188 |
| ドイツ | 90 | 62 | 92 | 140 | 144 |
| フランス | 39 | 61 | 78 | 93 | 112 |
| オランダ | 96 | 105 | 112 | 102 | 110 |

出典:財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く。)



フィンランドにおけるキーパーソン 富田憲男「日本食普及の親善大使」

- ・1987年にヘルシンキで日本の食料品、食器と台所用品の専門店「東京館」を開店。
 - ・日本食材や日本製寿司ロボット等の輸入、有名レストランやスーパーへの納入等も実施。
 - ・和包丁や出汁などの日本食文化にも精通、フィンランドでの日本食文化普及のイベントでも活躍。
- 2018年2月、日本食普及の親善大使に就任